

おんしゃく 議会だより



No. 155

平成22年3月

●発行／千葉県御宿町議会

●編集／議会だより編集委員会

●発行責任者／新井 明



12月議会

ぼくらは消防士！全員敬礼！
～ 職場体験学習（御宿小学校6年生）～

平成21年12月10日・11日
第4回 定例会

一般質問 平成22年度予算編成についてなど4議員が登壇・・・2P
条例改正(2件)・補正予算(4件)を可決……………7P

議会活動状況

平成21年1月から12月までの議会活動状況……………8P

平成22年1月29日 第1回 臨時会

水道事業会計・一般会計補正予算を可決……………9P

12月招集

日程第1号 (12月10日)

第4回定例会

輝きに満ちた活力ある町づくりに向け

4名の議員が 一般質問

※一般質問の内容は、要約して掲載していますので、全文(会議録)をご覧になりたい方は、町ホームページをご利用ください。なお、会議録編集の都合により掲載が遅滞する場合もございます。

《第4回定例会の日程》

開会日	主な内容 (審議結果)
12月10日(木)	一般質問(4名)
12月11日(金)	条例改正2件、補正予算4件を可決しました。

貝塚嘉軼議員

Q 平成二十二年予算編成について

来年度予算の編成にあたって、町長の考えがそこに十二分に反映されるのだろうか？

A 平成二十年度決算状況をみますと、経常収支比率八十八・二%、財政力指数〇・五五九、公債費比率十三・一%、積立金現在高五億八百万円、そのうち財政調整基金が二億五千五百万円、そして学校建設基金が一億四千八百万円で、他は減債基金等となっております。地方債のこれからの償還状況を見ますと、平成二十一年度から二十三年度まで年々およそ四億三千万円を償還いたします。二十四年度から徐々に減少いたしました三億八千万円、二十五年に三億五千万円となっております。このような財政状況の中

で、なすべき行政の課題も多岐にわたりますが、基本的に健全財政を堅持していくという考えに立って、予算編成にあたりたいと考えております。

答弁：(町長)

石田町長が町民にマニフェストで公約したことをごどのように展開していくのか？

A 町長に就任して以来、はや一年になろうとしておりますが、公約に掲げました福祉、教育、文化の振興、環境政策を含め、観光や漁業、農業、商業の振興、そして行財政改革と多面にわたりますが、二十一年度予算につきましては



▲春一番!おんじゅく海の花祭り

では、直近のテーマ、課題について、可能な範囲で予算化させていただきました。

実施項目といたしまして、報酬五十%カット、町

長専用車の廃止、環境浄化チームや定住化促進

チームの設置、これは継続事業として実施してまいります。臨時交付金を活用しての障害者福祉

政策の実施、観光面におきましては、町内再整備や、先にご承認いただきました観光案内所建設に

関してのこと、また議員の皆様方、町民の皆様方の多くのご支援、ご協力をいただいていたの四百周年記念事業の実施、福祉、子育てにおける乳幼児医療、小学校入学前児童への助

成拡大、中学生までの入院費無料化、フレックスタイムの試行導入、町長懇談会や町長室の開放などを実施してまいりました。

二十二年予算に係る事業につきましては、福祉、教育、文化の振興について、そして観光を中心



▲中山間地域総合整備事業実験ほ場

置し、委員の皆様方にはボランティアとして参加をお願いしたいと考えています。

答弁：(町長)

今年度、財政の収入状況をどういふふうに見積もっているのか？

A 国のほうも事業仕分けを終わって、国の予算編成方針が今月中旬に出るといふことになり、町税を初めとして、分担金、負担金、使用料、手数料については、自主財源をいかに着実に確保していくか、これからの重要な課題になってくるというふうに認識しております。また、町税の収入見込みでございますが、やはり個人所得の伸び悩みや新築家屋の減少、不況のありから、町民税、固定資産税等について、なかなか明るい材料が見当たらない状況にありますが、努力をしております。

答弁：(企画財政課長)

白鳥時忠 議員

Q 町長の政治姿勢について

商工会青年部や漁協青年部など、これからの御宿町を担っていく世代の育成に関する対策について

A 昨春秋の世界的な経済不況や国内での景気の低迷、規制緩和による大型店の進出等本町の商工業を取り巻く環境は、厳しい状況にあります。更に本町の商工業者は、家族経営が大部分を占め、健全な経営が難しくなり、廃業に追い込まれるケースが増加の傾向にあります。

後継者育成については、商工業が業として成り立つ事が重要であり、大型店と競合しない家族経営の利点を生かした大型店等の経営方針を分析し、それぞれの業を検討研究した経営戦略が必要と考えています。



▲おんじゅくまちかどつるし雛めぐり

そのためには、各分野における商工会を中心とした経営指導業務の強化や相談業務の充実、国・県が主催する経営セミナーや成功事例に見るビジネス手法等情報の提供等を行い、自分達で客観的に評価問題を発見し解決策を考える、協働の町づくりの基本となる役割分担を明確にしたワークショップを検討したいと考えています。既に実施している中山間地域での持続可能な町づくり事業、宿泊業の女将さんを中心としたワークショップ等を実施している事などから、他の団体等と調整を図りながら進めていきたいと考えています。

答弁：(産業観光課長)

Q 定住化の状況について

A 町の人口推移を見ますと、平成十七年、今から四年前ですが、国勢調査を行ったときの町の人口が七千九百四十二人、今年十月の人口は、百四十人減って、七千八百人、減少率が申しますと一七％という状況になっています。外房地区の近隣の状況と比較しますと御宿町を中心として、一定の定住があるということ、他の地域と比べて減少率は少ない状況になっております。

本年三月に庁内に定住化の促進チームを立ち上げ、今までに五回ほど会議を実施しております。

答弁：(企画財政課長)

Q 御宿町の行政事業に係る事業仕分けについて

A 行政改革の一つの手法として活用が可能と理解しています。本年十一月

末現在で国や全国の四十

四の自治体で事業仕分けを行っておりまして、県内では、千葉県と館山市、習志野市の二団体が現在実施しております。

御宿町の予算編成方針といたしまして、職員一人一人が町民の皆さんの目線に立って、何が町民にとって大切なかを意識して予算編成をするよう指示してございまして、従来から行っています行政改革、住民懇談会の提言を反映させて、さらに予算協議の中で費用対効果などの分析を精査することで一定の成果が得られるのではないかと考えておりますが、しかし、これも行政内部での精査であるという限界もあり、今後に向けては、行政サービスの町づくりの観点からも、他団体の事例、また事業仕分けのメリット、デメリットについて調査して、導入について前向きに検討する必要があります。

答弁：(企画財政課長)

Q 指定管理者制度について

A 現在、御宿町では、地域福祉センター及びパークゴルフガーデンの管理運営について、指定管理者制度を導入しておりますが、それぞれの施設において、専門的なノウハウにより、施設の利便性の向上等、利用しやすい環境整備が進められ、運営経費を含め一定の成果が得られているところでございます。今後につきましても、各公共施設の管理形態について、行政が直接管理する場合と指定管理者制度を導入する場合のそれぞれの合理性及び課題を利用者側の視点に立って考えながら、利用者の住民サービスの向上につながる前向きな検討をしてまいりたいと考えています。

答弁：(町長)



▲ほっとサロン (地域福祉センター)

Q 地上デジタル放送について

A 御宿町は、従来から東京タワーの方向に山を抱えておりまして、難視聴地域のため現在各地域でテレビ共聴施設の組合をつくって有線テレビを受信しています。平成二十三年七月から開始されます地上デジタル放送に向けて、平成十八年から難視聴解消について関係機関への陳情などを重ねてまいりました。町では、平成十九年六月に町内の共聴施設組合の全組織で御宿町地上デジタル放送対策連絡協議会を設置い



たしまして、これに対する対応を協議してまいったところでございます。

その結果、御宿町にも近隣の市、町と同様に地上デジタル放送用の中継局を関係機関に設置していただくということになりました。NHK、民放の放送事業者、総務省へも陳情等をしてまいりました。町議会でも、平成十八年中に十二月定例会で請願書が採択されまして、関係大臣に意見書を提出されたところでございます。

答弁：(企画財政課長)

Q 光フロードバンド回線について

A 町内では光が入っているのは御宿台、それ以外についてはADSL回線ですが、遠距離の場合、なかなか使用できないという状況でございます。都市部との情報格差を無くすため整備の推進の説明を重ねてまいりました。

今回、国の経済対策が事業費の三分の一、残り三分の二の九十%が経済対策の中の公共投資臨時交付金でできると説明を受けましたので、それについて、議会にも説明してございます。千葉県では御宿町を含めて八団体が申し込みをしたというところでございます。

答弁：(企画財政課長)

瀧口義雄 議員

Q 施設管理について

老朽化した施設の対応について

A 御宿町には現在庁舎を含めまして約六十棟の施設があります。このうち使用する予定の施設については二十七年までの耐震化を進め旧社会福祉協議会や火葬場など今後の使用が見込めないことから廃止する建物が約九棟ございます。旧社会福祉協議会の建物は老朽化が



▲旧社会福祉協議会の建物

激しく立地がよいことから他の使用目的が可能な場合は解体をしたいと思っております。岩和田小学校についてですが、これについて教室棟が築五十年、また廊下が傾いて危険であるということ、中に入りましても使用できる状況にございません。

なるべく老朽化した教室棟については解体したいと考えておりますが、地域住民の皆さんへの十分な説明等合意が必要であるとのこと指摘をいただきまして、その後、区役員会、また五月に開催されました住民懇談会等でも、町の意向についてはご説明してまいりましたが、いまだ充分なご理解をいただく

には至っていないため、今後も、地元の皆さんのご意見を伺いながら、あわせてご説明してご理解を賜りたいと考えています。

答弁：(企画財政課長)

Q 御宿中学校屋内運動場とグラウンド整備について

A 平成二十四年度に屋内運動場の建設、二十五年度にグラウンドの整備をする予定でございます。建設に係る予算につきましては、体育館、柔剣道場、グラウンド整備で約五億八千万円ということでございます。建設の規模につきましては、体育館、柔剣道場で建築面積が千四百四十七、五九㎡、



▲御宿中学校の運動場

延べ床面積で千七百六十九、六㎡ということでございます。

現在の生徒数につきましては百四十五名ということですが、平成二十四年度の生徒数につきましては百七十名でございます。

答弁：(教育課長)

Q 御宿町汚水処理計画と御宿台施設の取り扱いについて

A 今回の千葉県の全域域汚水適正処理構想の見直しに伴いまして、御宿町汚水適正処理構想の策定内容を見直したものでございます。前回、平成十四年度に策定した構想内容と区域処理方法に変更はございません。区域処理方法に変更はないということでございますが、御宿台を含めた旧御宿地区につきましては公共下水道施設で管理したほうが金額が安い見込みです。山間部のほうにつきましては、個別の合併処理浄

化槽を推進していく方向性が出ています。実施金額については、六十七億二千万円という金額となっております。

答弁：(建設環境課長)

Q 開始年度は?

A 当初の構想でいきますと、平成三十七年度に事業実施を考慮しております。

答弁：(建設環境課長)

Q 御宿台公共施設の、四者協議における移管について

A 移管されたものについては、四者協定に基づきまして、公共的な道路、公共的な広場、公園、緑地、緑道、排水施設、防災施設等がございます。現状で移管されていないものにつきましては、下水処理施設ごみ集積所がございます。平成十三年に主に移管されております。

答弁：(企画財政課長)

Q 平成二十一年度事業に関する見解について

定員管理、財政管理を計画性を持って、初級三名をどういう趣旨で募集したのか？

A 採用試験にあたって初級は高校卒業程度の学力のあるもの、上級については大学卒業程度という区分になっております。

答弁：(総務課長)

A 七名採用で、今回辞める職員も同じ人数でございますが、これが逆の場合で上級の応募がなかった場合は非常に能力的にまずいのではないかと思います。私の判断といたしましては下級の内容につきまして上級職がこなすことができるということ、私の裁量として判断させていただきます。

答弁：(町長)

石井芳清議員

Q 町長の政治姿勢について

第二に、町長の目指す今後の町づくりにビジョンとその実現方法について伺います。

A 簡潔に申し上げますと、御宿町を持つ美しい自然環境を生かした町づくりをビジョンに、私の公約

マニフェストを実現していきたいと考えております。その基本となるものがやはり協働による町づくり、町民の皆様方にいるいろいろな意見をいただきながら、町づくりをしていきたい、公約を実現していきたいと考えております。

答弁：(町長)

芝生による保育園や学校児童館等の緑化は？

中山間地での対策としてグラウンドカバープランツは？



▲御宿保育所の遠足(布施小学校にて)

A 芝生による緑化、またグラウンドカバープランツということで、二つのすばらしいご提案をいただきましてありがとうございます。

資料等もいろいろ拝見させていただきましたが、やはり芝生による緑化にいたしても、管理がいろいろな面で容易でない、困難性があるというように感じがいたしました。私としては、小範囲かもわかりませんが、試験的にやってみるもので、少し実験的にやってみたいと考えています。

答弁：(町長)

ビジョン実現、町づくりに関する財源の確保と運用について

町民の SOS を受けとめ、



▲いすみ医療センター

A お薬手帳につきましては、医師や薬剤師が処方

A 国・県へのいろいろな働きかけは今までもやっていたつもりでございますが、今後とも一層努力をさせていただきますと思います。

答弁：(町長)

役場職員の労働環境の整備と対策について

A 私の掲げました政策の執行、住民サービスの向上など、平等な行政運営を図るには、職員の適正な労働環境が必要と考えます。機構改革検討委員会を十月に設置いたしました、今後の望ましい機構のあり方について諮問いたしました

が、職員の労働環境にも配慮し検討を進めるよう指示したところでございます。また、恒常的に残業が発生する業務につきましては、負荷軽減のため職務分担の見直し、適正な職員配置なども検討していかなければいけないと考えております。

答弁：(町長)

安心して暮らせる町づくりについて

A 救急医療体制につきましては、夷隅郡市広域消防により、七台の救急車により体制を整えているところでございます。受け入れ病院は、夷隅郡内では五つの病院が二次医療指定機関となっております。

夷隅郡市消防本部の平成二十年度の救急出動は三千六百五十二回で、そのうち御宿町は三百八十六回の約十一%を占めております。いすみ医療センターは、平成二十年度は内科がありませんでしたが、今年度に内科医が配属され、輪番制により内科の救急が

対応可能となった現状でございます。

答弁：(保健福祉課長)

山武・長生・夷隅医療圏の整備計画について

A 本年度、千葉県地域医療再生プログラムを作成しております。

この再生計画を契機として、千葉県では、救急医療の拠点整備施設がなく、管外の搬送が半数近くに及んでいる地域の救急医療体制を五年以内に必ず構築する。連携的な医療従事者の確保、研修、就職支援システムの構築、救急医療を担う医療従事者の確保、連携的なネットワークを構築することを、県として計画を策定することとしております。

答弁：(保健福祉課長)

医療の安全策確保から、お薬手帳等の実施は？

A お薬手帳につきましては、医師や薬剤師が処方

とにより、重複処方を防ぎ、患者の体調変化にも早く気づき、ひいては医療費の減にもなりますことから、先進の事例を参考に検討したいと考えております。

答弁：（保健福祉課長）

自殺対策について伺います。

A 世界保健機関では、自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題であると明言しているように、自殺は社会の努力で避けることができる死であるというのには世界の共通認識となりつつあります。千葉県では、自殺対策推進計画を本年十月に計画骨子案として出しております。市町村もこの計画に基づき、具体的な取り組み方針を作成いたします。自殺に関するものは、精神的なものが大きな要因であると考えられることから、町では、保健師が保健所の専門職とともに家庭訪問に

より相談に乗り、ケアをしている現状でございます。今後は、地域の医師にも相談できるような協力依頼をし、自殺対策の取り組み方針を策定したいと思っております。

答弁：（保健福祉課長）

年末年始の相談窓口の開設について伺います。

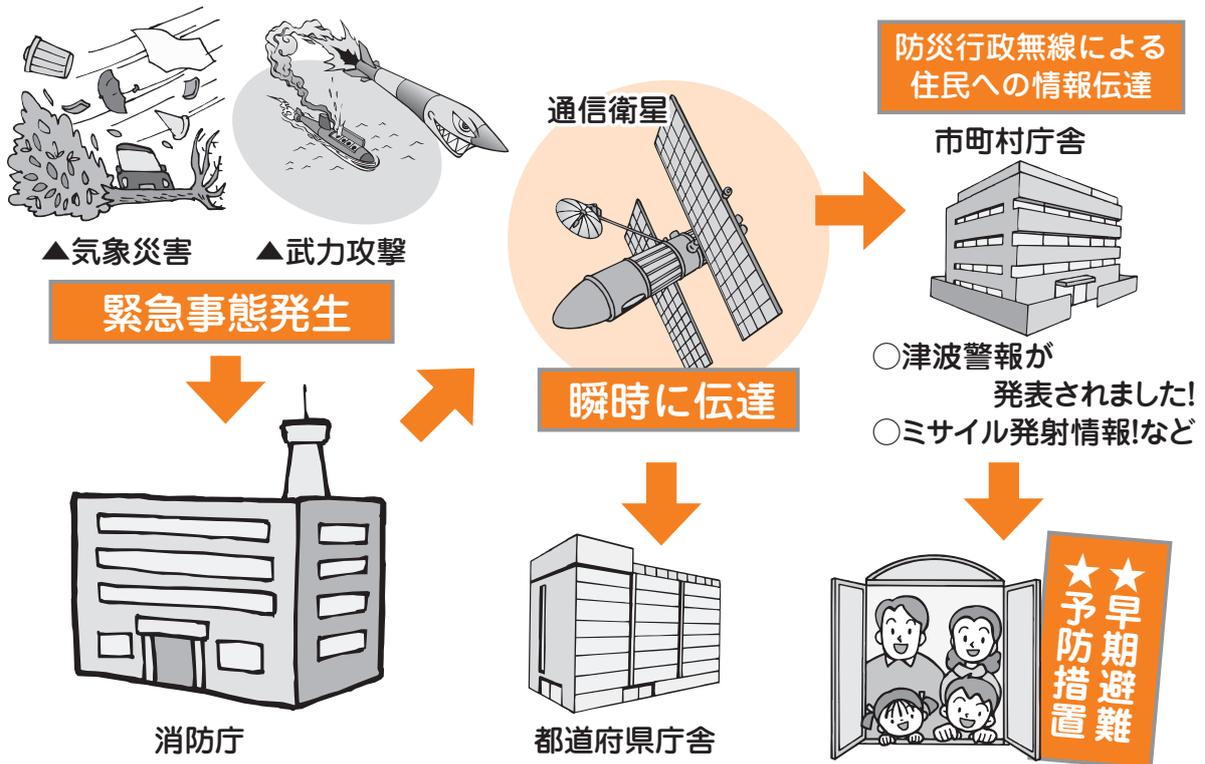
A 役場につきましては、十二月二十九日の火曜日から一月三日が休業となります。業務のうち清掃センターは年末年始につきましては臨時収集を行う他、特に福祉関係で申し上げますと、個別対応事例が多いことから、社会福祉協議会で担当職員と連絡できるようにしております。介護関係につきましては役場係に担当者の連絡先を案内できるようにしております。

答弁：（総務課長）

ジェイ アラート
※ J-ALERT (全国瞬時警報システム) について

全国瞬時警報システムのことで、気象庁から送信される気象関係情報や、内閣官房から送信される有事関係情報で対処に時間的余裕のない事態に関する情報が衛星ネットワークにより送信され、町の防災行政無線を自動的に起動し、住民の皆さまに瞬時に情報を伝えるシステムです。

イメージ図





日程第 2 号 (12 月 11 日)

第 4 回定例会

条例改正 2 件・特別会計補正予算 3 件・一般会計補正予算 1 件が可決されました。

条例改正

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本年四月から国家公務員の勤務時間が短縮されたことに伴い、千葉県並びに県下大半の市町村では、既に勤務時間を短縮していることから、本町においても勤務時間を短縮するため、改正を行いました。

職員の勤務時間・・・午前八時三十分から午後五時十五分までとなります。

実施時期・・・平成二十二年四月一日からとなります。

一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定に伴う、関係条文の改正です。

補正予算

水道事業会計補正予算(第四号)

老朽化により能力が低下した浄水場集中制御装置用非常電源及び浄水場原水流量計交換に伴う補正を行いました。

資本的収入及び支出予算の建設改良費を三百九十三万八千円増額し、資本的支出の予算総額を八千五百七十四万七千円とするものです。

国民健康保険特別会計補正予算(第五号)

保険基盤安定の概算金額の算出による繰入金金の増額、高額合算療養費の支払い制度の改正に伴う電算システムの導入及び出産育児一時金の改正による不足額、高額療養費の支出の推計による不足分の補正を行いました。

歳入歳出千七百六十万円を追加し、予算総額を十億四千七百六十九万二千元とするものです。

介護保険特別会計補正予算(第四号)

本年四月から始まった介護従事者処遇改善に伴うサービス提供事業所等でのサービス提供や新規加算が増額改定となったことや介護予防サービスが定着し、居宅サービス利用者や介護予防サービス提供事業所の新規加算金、居宅介護予防支援計画の作成人数の増加による追加補正を行いました。

歳入歳出千八百二十四万四千円を追加し、予算総額を六億八千二百十八万八千円とするものです。

一般会計補正予算(第八号)

高齢者や心身障害者に係る扶助費の追加をはじめ、県の緊急雇用創出事業。ふるさと雇用再生特別基金事業に伴う補正。※J・ALERT(全国瞬時警報システム)の改修費用のほか、十月上旬に発生した台風の影響による災害等で緊急に対応が必要な単独災害復旧事業や道路の改修費、各施設等の補修費用。

南房総広域水道事業団が実施する水管橋耐震補強工事に伴う出資金の追加、国民健康保険、介護保険特別会計への繰出金について補正を行いました。

歳入歳出三千九百五十万円を追加し、予算総額を二十九億八千六百二十万二千元とするものです。

平成21年1月～12月 御宿町議会活動状況

平成21年1月から12月までの御宿町議会の活動状況です。
町民の願いを町政に反映させ、町の様々な課題についてきめ細かく審議し、どう処理すべきかを定めるため、積極的な活動を行いました。

(1) 議会開催回数と会期日数及び付議事件(平成21年1月～12月)

区 分		定例会	臨時会	合 計	
開 催 回 数		4	7	11	
会期日数(本会議)		28(10)	7(7)	35(17)	
付 議 事 件	町長提出	条 例	11	6	17
		予 算	23	10	33
		決 算	6	0	6
		専 決 処 分	0	2	2
		規 則 そ の 他	4	4	8
		報 告	3	0	3
		同 意	2	0	2
		計	49	22	71
	議員提出	条 例	0	1	1
		報 告	0	0	0
		意 見 書	3	0	3
		請 願 ・ 陳 情	3	0	3
		規 則 そ の 他	1	0	1
		決 議	0	1	1
		選 挙	0	0	0
		選 任	2	0	2
	計	9	2	11	
	合 計		58	24	82

(単位：回・日・件)

▶教育民生委員会の学校訪問
(御宿小学校)



(2)傍聴者数(平成21年1月~12月)

定例会	傍聴者数	臨時会	傍聴者数
第1回(3月)	79人	第1回(2月)	22人
第2回(6月)	48人	第2回(3月)	29人
第3回(9月)	29人	第3回(5月)	4人
第4回(12月)	33人	第4回(7月)	4人
計	189人	第5回(8月)	3人
		第6回(11月)	15人
		第7回(11月)	11人
		計	88人

定例会・臨時会傍聴者合計
277人

(3)委員会等の開催状況(平成21年1月~12月)

総務委員会(協議会)	4回
教育民生委員会(〃)	4回
産業建設委員会(〃)	11回
全員協議会	5回
議員協議会	18回

1月招集

1月29日開会

第1回臨時会

平成22年1月29日 第1回臨時会が開催され、2議案が可決されました。

補正予算

水道事業会計補正予算(第五号)



▲交換される原水流量計(御宿町浄水場)

浄水場原水流量計交換に伴う浄水場中央監視盤の改造費用として建設改良費の補正を行いました。

資本的収入及び支出予算に百五万円を増額し、資本的支出の予算総額を八千六百七十九万七千円とするものです。



一般会計補正予算(第九号)

国のIT新改革戦略に基づき、町全体を対象とした光回線による超高速ブロードバンドの通信基盤整備並びに、町の多様な資源を効果的に活用し、地域活力の創出を図るため、平成二十一年度から二十三年度までの三カ年にわたり実施する国の雇用対策制度を活用した地域資源活用事業として、おんじゅくウェルネス計画の委託費の補正を行いました。

歳入歳出一億二千三百三十一万九千九百円を追加し、予算総額を三十一億二百九十二万一千円とするものです。

おめでとうございます

御宿町表彰規程に基づく 町議会議員表彰



平成 22 年 1 月の臨時会で、瀧口義雄議員が町議会議員として 12 年以上在職し、町政発展に尽力された功績が認められ、御宿町より表彰を受けました。

夷隅郡町村議会議長会議員研修

(実施日：平成 22 年 2 月 26 日)



この研修は、地方自治の仕組みや議会の使命を学び、議会議員としての資質を高め、議会活動及び地方議会運営の向上に努めることを目的とし、夷隅郡町村議会議長会の主催により、御宿町議会と大多喜町議会の合同で平成 22 年 2 月定例県議会（千葉県議会）の傍聴を行ないました。

3 月定例会報告

平成 22 年第 1 回定例会が 3 月 9 日から 11 日まで開会されました。詳しくは次回の議会だより (156 号) にて報告いたします。

おしらせ

- ・本年 3 月定例会から、町ホームページで一般質問者及び質問事項を掲載いたします。
- ・平成 22 年 4 月から公民館でも会議録の閲覧が可能になります。

皆さん傍聴に来て下さい

次回の定例会、臨時会については町ホームページ等でお知らせいたします。

手続きは、3 階で住所と名前を書くだけです。

* 本会議の内容や会議録は、町ホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。
<http://www.town.onjuku.chiba.jp/> ※会議録は編集の都合により掲載が遅滞する場合もございます。

編集後記

春とは名ばかりの風の寒さが公園の梅や桜の枝をゆするなか、町内の小中学校に別れの季節がやってきます。少子化のなかで子どもたちの笑い声が弾んで聞こえた校舎に緊張してちよつと背伸びした子どもたちの姿があります。

新政権の目玉事業ともいえる子ども手当が、時代を担う子どもたちの将来に有効に活用されることを願うと共に目先の姿にとらわれない将来像をもう一度大きな目で確認することが必要な気がします。

当町でも新年度予算が可決され、数年ぶりの増額予算ですが、景気の風は依然寒く冷たい状況には変わりありません。暖かな季節が待ち遠しい日です。

編集委員長

白鳥 時忠